

新しい薬学をめざして

Vol.51 No.3
2022.4.1

発行 新薬学者集団

〒555-0024 大阪市西淀川区野里3丁目6-8 E-mail sigma-info@faruma.co.jp
一般社団法人大阪ファルマプラン・あおぞら薬局 気付 郵便振替口座 01090-8-16463
TEL 06-6477-8080 (担当 稲垣) FAX 06-6477-8082 URL http://pha.jp/shin-yakugaku/



ミニゼミ報告

私たちの食と環境—ミツバチが教えてくれるもの

真見理香

ニホンミツバチとセイヨウミツバチ

私たちの生活で、ハチミツはとても馴染みのあるものですが、ハチミツやミツバチの生態については、「意外に知らない」ものかもしれません。



ヨーロッパ社会の場合、旧約聖書に出てくる神様との「約束の地」は、「乳と蜜の流れる土地」ですし、ハネムーン (honeymoon) に、honey の語が含まれるのは、かつてゲルマン民族が、新婚1ヶ月はハチミツ発酵酒のミード (mead) を飲む慣習があったからだとか。また修道院や教会のロウソクはミツロウで作られていたため、修道院で養

図1 ニホンミツバチ 蜂が行われることもありました。日本の和ロウソクは、ハゼなどの実から作られることが多く、こうした海外との、ミツバチをめぐる文化的な違いも興味深いものです。

日本には、在来種で野生のニホンミツバチが北海道や沖縄を除いて生息しています (図1) が、スーパーなどで販売されているハチミツは主に、セイヨウミツバチ (家畜種) のものです。セイヨウミツバチは、明治時代に畜産業の近代化の一環として移入されました。セイヨウミツバチの体は、ニホンミツバチよりわずかに大きく、ニホンミツバチの数倍-10倍もの採蜜量があります。セイヨウミツバチは、定型化した巣枠式の巣箱で飼育されますが、ニホンミ

目次

□ミニゼミ報告 私たちの食と環境—ミツバチが教えてくれるもの 真見理香 55	□玉枝の平和だよりから (8) ウクライナに対する軍事威嚇をやめよ! 中村玉枝 76
□書籍解説 (その4) 『子宮頸がんワクチン問題 社会・法・科学』 原題「The HPV Vaccine On Trial」の日本語版 里見佳子 62	□新医協 子宮頸がん (HPV) ワクチン問題 「市民シンポジウム-接種勧奨のハガキが届く前に知っ ておいてほしいこと-」参加報告 野村充代 77
□福島のいま (その79) 侵略されたウクライナから福島・日本の原発を考える 佐藤政男 71	□新薬学者集団第8回運営委員会報告 79
□新薬学者集団2022年度総会・講演会案内 75	□新薬学者集団第9回運営委員会報告 81
	□西田陽子さん出版記念講演会のご案内 82